

令和6年度業務実績及び暫定評価期間業務実績に係る委員項目別評価一覧

◆本表は、法人の自己評価及び各委員・県の評価を一覧にしたものです。

資料3

評 価 項 目		令和6年度業務実績に係る評価								暫定評価(3年間の業務実績を総合的に評価)											
		(審)県評価(R6)	委員評価							(審)県評価(R6)	評価結果		法人自己評価(暫定)	委員評価							(審)県評価(暫定)
			小山委員	加藤委員	堀内委員	小林委員	斎藤委員	土屋委員長	橋本副委員長		R4評価結果	R5評価結果		小山委員	加藤委員	堀内委員	小林委員	斎藤委員	土屋委員長	橋本副委員長	
第2	県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置																				
	1 診療事業及び福祉事業																				
	(1)質の高い医療・療育の提供	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
	(2)地域への貢献	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	B	A	A	A	A	A	A	A	A	A
	(3)患者・家族の視点に立った医療・療育の提供	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
	(4)患者が安心できる医療・療育の提供	A	A	A	A	A	A	A	A	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
	2 療育支援事業	B	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
	3 成育支援事業	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B
	4 臨床研究事業	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
	5 教育研修事業	A	A	A	A	A	A	A	A	A	B	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
	6 災害時等における活動	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
第3	業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置																				
	1 効率的な業務運営体制の確立	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
	2 業務運営の見直し及び効率化による収支改善	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
第4～第10	予算、収支計画及び資金計画等	C	C	C	C	C	C	C	C	C	B	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
第11	その他業務運営に関する重要目標を達成するためにとるべき措置																				
	1 人事に関する計画	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
	2 職員の就労環境の整備	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
	3 情報セキュリティ対策に関する計画	B	B	B	B	B	B	B	B	B	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
	4 医療機器・施設整備に関する計画	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B

(判定基準)項目別評価
以下の5段階評価
「S」:当該法人の業績向上努力により、中期計画における所期の目標を量的及び質的に上回る顕著な成果が得られていると認められる
・定量的指標の対中期計画値(又は対年度計画値)が110%以上で、かつ質的に顕著な成果が得られていると認められる場合、又は定量的指標の対中期計画値(又は対年度計画値)が100%以上で、かつ困難度が「高」とされており、かつ質的に顕著な成果が得られていると認められる場合
・定量的目標で評価できない項目についてはS評価なし
「A」:当該法人の業績向上努力により、中期計画における所期の目標を上回る成果が得られていると認められる
・定量的指標の対中期計画値(又は対年度計画値)が110%以上、又は定量的指標の対中期計画値(又は対年度計画値)が100%以上で、かつ困難度が「高」とされている場合
・定量的指標がない項目においては目標の水準を上回る場合
「B」:中期計画における所期の目標を達成していると認められる
・定量的指標においては対中期計画値(又は対年度計画値)の100%以上
・定量的指標がない項目においては目標の水準を満たしている場合(「A」に該当する事項を除く)
「C」:中期計画における所期の目標を下回っており、改善を要する
・定量的指標においては対中期計画値(又は対年度計画値)の80%以上100%未満
・定量的指標がない項目においては目標の水準を満たしていない場合(「D」に該当する事項を除く)
「D」:中期計画における所期の目標を下回っており、業務の廃止を含めた抜本的な改善を求める
・定量的指標においては対中期計画値(又は対年度計画値)の80%未満、又は業務運営の改善その他の必要な措置を講ずることを命ずる必要があると認められる場合
・定量的指標がない項目においては目標の水準を満たしておらず、業務運営の改善その他の必要な措置を講ずることを命ずる必要があると認められる場合を含む、抜本的な業務の見直しが必要な場合